

原子力安全部会「福島第一原子力発電所事故に関するセミナー第2回」

開催案内

(暫定版)

福島第一原子力発電所の事故については、既に政府報告書（第1報、第2報）や事故調査委員会・中間報告書が出ています。また、原子力学会でも様々な活動や報告がなされています。

原子力安全部会は、平成20年8月、「原子力安全に関連した研究者間の交流と情報交換を積極的に行い、また、研究活動を支援するとともに、原子力安全に係る事項について情報を発信し、原子力利用における安全確保とそれに関する理解の促進に貢献することを目的」として設立され、その後、安全に関する議論を行う場を提供する観点から、特にシビアアクシデント対処設計の考え方などをテーマとして講演会やセミナーを開催してまいりました。

この活動の一環として、本年2月17日「福島第一原子力発電所事故に関するセミナー」（第1回）を開催し、100名以上の参加者を得て、福島事故の概要やそこから得られた設計、運転、防災などの教訓について活発な議論が行われました。また、その際にこうした活動は有意義であり、1回に終わらず議論を続けることが重要との指摘がありました。

さらに、主要な意見・議論については、学会春の大会2日目（3月20日）の安全部会全体会合で報告するとともに、今後の活動について議論し、その結果を踏まえて、平成24年度の部会活動として、福島事故に関する安全部会セミナーをシリーズで月1回程度のペースで開催することといたしました。

第2回セミナーの日時、場所、及び第3回以降の予定テーマは次の通りです。

1. 第2回セミナー開催予定

日時：5月8日（金）13:30から17:00まで。（30分程度の延長もあり得ます。）

場所：東大本郷・工学部11号館講堂（130人収容）

2. セミナーシリーズの趣旨

議論の趣旨は、以下のように考えております。

- ・ 福島事故に関し、「何が悪かったか、今後何をすべきか」について議論する。原子力学会はわが国のアカデミアを構成する組織であることを踏まえ、学会としてあるいは原子力安全部会として何をすべきかの観点を重視する。

- ・ 原子力は多くの技術の総合であり、福島事故を含め、事故は技術分野の隙間で起きることが多い。セミナーの目的は、事故そのものの解説ではなく、事故によって示された課題を踏まえて今後より安全な原子力を確立していくために、技術分野間あるいは産官学間の相互理解を進めることを目的とする。

3. セミナーの今後のテーマ予定

セミナーシリーズでは、第1回セミナーに引き続き、次の論点に注目します。

- ・ 外的事象に対する安全確保策のあり方
- ・ シビアアクシデントまで対象とした場合の安全設計のあり方（フェイルセーフ、計測等を含む）
- ・ シビアアクシデントが起きてしまった後の対策
- ・ 使用済み燃料プールの安全確保（DBA、AMを含む）
- ・ 防災のあり方
- ・ シビアアクシデント時のコミュニケーション（SPDS、放射線モニタリングを含む）

これらの議論を具体的な事故経験に基づいて進めるために、各回のセミナーでは、対象プラントを絞って議論します。

- ・ 第2回：福島第1原子力発電所1号機の原子炉に係わる問題
- ・ 第3回：同2,3号機の原子炉に係わる問題
- ・ 第4回：同4号機のSFPと防災に係わる問題
- ・ 第5回：福島第2、女川、東海第2に係わる問題

第2回セミナーでは、福島第1原子力発電所1号機の事故進展とそこで現れた設計上の課題を題材として、次の観点で議論します。

- ① シビアアクシデントまで対象とした場合の安全設計のあり方（フェイルセーフ、計測等を含む）
- ② 外的事象に対する安全確保策のあり方

4. 第2回プログラム(詳細を追って掲載します)

5. 第2回参加申し込み

下記へE-mailにて申し込みください。

E-mail : nsrc-seminar01@jaea.go.jp

申し込み多数の場合は、次のようにさせていただきます。

- 申し込みの第一次締切日を4月26日17時とします。

- 第一次締切日にて応募が定員（約 100 名）を超えた場合は、①安全部会会員、②原子力学会会員、③その他の順で優先させていただきます。①及び②のグループ内での優先順位は先着順とします。
- 第一次締め切り日以後は区別なく先着順とします。
- 申し込みは以下の事項をメール本文に記載して送付する。
 - ・ 氏名 :
 - ・ 会員分類（以下の番号を記載） :
(1 = 原子力安全部会部会員、2 = 原子力学会会員（原子力安全部会以外）、
3 = 原子力学会会員以外)
 - ・ 所属 :
 - ・ 電子メールアドレス :
 - ・ 原子力学会会員番号(会員の場合) :

6. 連絡先

(独)日本原子力研究開発機構
安全研究センター

担当 : 工藤

E-mail : nsrc-seminar01@jaea.go.jp

以上